

東京都自転車点検整備指針

平成25年6月

東京都

1 趣旨

この指針は、自転車（自転車でけん引するリヤカー等の他の車両を含みます。）の点検又は整備（以下「点検整備」といいます。）が効果的かつ適切に行われるよう、東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例（平成25年東京都条例第14号）第20条の規定に基づき、作成したものです。

2 点検整備の必要性及び注意事項

(1) 点検整備の必要性

道路交通法等では、別表第1のとおり、自転車の安全で適正な利用のために重要な部品であるブレーキ、前照灯等が満たすべき性能を定めています。また、ブレーキ、警音器等を備え付けていない自転車の利用は禁止されています。こうした部品について、その基準を満たすように備え付けたり、整備したりすることは当然ですが、タイヤ、チェーン等の部品も利用に伴って劣化していくことから、点検整備が不可欠です。

点検整備が不十分な自転車は、自転車利用者にとって危険であるばかりでなく、歩行者等の周りの人にも危険を及ぼすおそれがあります。

このため、自転車利用者は、自転車が自動車等と同じ「車両」の一つであり、その点検整備は自転車利用者の責任であることを自覚した上で、この指針を踏まえてしっかりと点検整備を行い、自転車の安全性を確保することが必要です。

(2) 点検整備に当たっての注意事項

点検整備には、日常的な点検整備や、詳細に行うべき定期的な点検整備があります。技能や知識が不十分な状態で点検整備を行うと、気付くべき不具合を発見できないなど、自転車の安全性を更に損なうおそれもあります。

このため、自転車利用者は、まず、次章で定める点検整備のうち、日常的な点検を行えるようになるとともに、日常的な整備、定期的な点検整備等については、必要に応じて、自転車安全整備士や自転車技士に依頼するようにしましょう。

1 総則

この章では、広く普及している一般的な自転車（工業標準化法に基づく日本工業規格 D9111（自転車—分類及び諸元）に規定する「一般用自転車」の「シティ車」）を、買物、最寄り駅等までの移動で利用している場合を主として想定した点検整備を記載しています。

スポーツタイプの自転車、電動アシスト自転車、折りたたみ自転車、自転車でけん引されるリヤカー等の車両の種類が異なるもの、毎日長時間利用するなど自転車の利用形態が異なるもの、一般的な自転車であっても保管状態が異なるもの等は、点検整備の内容、方法、頻度等に違いが出てきます。この章で定められている事項を踏まえつつ、自転車安全整備士や自転車技士の意見も参考にして、それぞれに応じた点検整備を行いましょ。う。

2 日常的な点検整備

- (1) 日常的な点検整備とは、自転車を利用する日ごとに行うべき点検整備です。
- (2) 別表第2を踏まえて行いましょ。う。
- (3) 利用前の点検では異常がなかった場合でも、利用中に異常を感じた場合には、自転車の利用を中止し、必要な点検整備を行いましょ。う。

3 定期的な点検整備

- (1) 定期的な点検整備とは、おおむね1年に一度を目安として行うべき点検整備です。
- (2) 別表第3を踏まえて行いましょ。う。

4 転倒等で車体に衝撃が加わった場合の点検整備

車体に衝撃が加わった場合には、外形に破損等が生じていなくても、フレームのゆがみ、外部から見えない部品の破損等が生じていることがあります。このため、定期的な点検整備と同様の点検整備を行いましょ。う。

5 中古の自転車を新たに入手した場合の点検整備

中古の自転車は、経年劣化等による部品の磨耗等が生じています。適切に点検整備が行われていることの確認がとれない場合は、定期的な点検整備と同様の点検整備を行いましょ。う。

別表第1 性能が法定された部品

部品	法定の性能
ブレーキ	<ul style="list-style-type: none"> ・前車輪及び後車輪をそれぞれ制動すること。 ・乾燥した平坦な舗装路面において時速10kmで走行中にブレーキをかけたとき、3m以内の距離で円滑に停止できること。
前照灯	<ul style="list-style-type: none"> ・白色又は淡黄色であること。 ・夜間、前方10mの距離にある障害物を確認できる光度であること。
尾灯	<ul style="list-style-type: none"> ・赤色であること。 ・夜間、後方100mの距離から点灯を確認できる光度であること。
後部反射器材	<ul style="list-style-type: none"> ・反射光の色が橙色又は赤色であること。 ・夜間、後方100mの距離から自動車の前照灯で照射したときに、その反射光を照射位置から容易に確認できること。
備考 後部反射器材を1個（後面の幅が50cm以上の自転車については、両側にそれぞれ1個以上）備え付けていれば、尾灯を備え付ける必要はありません（以下同じです。）。	

別表第2 日常的な点検整備

点検整備の対象	点検の内容	整備の内容	確保すべき性能等
ブレーキ	<ul style="list-style-type: none"> ・前ブレーキレバーを人差し指と中指で強く握って作動させた上で、自転車を前に押し、前車輪が回るか確認する。 ・後ブレーキレバーを人差し指と中指で強く握って作動させた上で、前方の水平な位置に置いたペダル上に体重をかけ、後車輪が回るか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレーキブロックやブレーキワイヤの取付位置や長さを調整する。 ・新品に交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前ブレーキレバーを人差し指と中指で強く握って作動させた上で、自転車を前に押しても、前車輪が回らない。 ・後ブレーキレバーを人差し指と中指で強く握って作動させた上で、前方の水平な位置に置いたペダル上に体重をかけても、後車輪が回らない。
タイヤ	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車に乗車した状態で、接地している部分の長さを確認する。 ・異物が刺さっていないか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・空気を入れる。 ・タイヤ又はタイヤチューブを新品に交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・接地している部分の長さがおおむね10cm程度である。
ハンドル	<ul style="list-style-type: none"> ・上下左右に動かし、がたつきや緩みがないか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・付属のナット等を締める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・がたつきや緩みがない。
前照灯	<ul style="list-style-type: none"> ・点灯させ、明るさを前方から確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電球や電池を交換するなどする。 ・新品に交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく点灯する。

尾灯	<ul style="list-style-type: none"> 点灯させ、明るさを後方から確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 電球や電池を交換するなどする。 新品に交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> 明るく点灯する。
後部反射器材	<ul style="list-style-type: none"> ライト等の光を照射し、その反射光の明るさを後方から確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 汚れを取り除く。 新品に交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> 明るく反射している。
側面反射器材	<ul style="list-style-type: none"> ライト等の光を照射し、その反射光の明るさを側方から確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 汚れを取り除く。 新品に交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> 明るく反射している。
ペダル反射器材	<ul style="list-style-type: none"> ライト等の光を照射し、その反射光の明るさを前後方から確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 汚れを取り除く。 新品に交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> 明るく反射している。
サドル	<ul style="list-style-type: none"> サドルポストに刻まれた「はめ合わせ限界標識」が見えていないか確認する。 上下左右に動かしたり、水平方向に回し、がたつきや緩みがないか確認する。 サドルにまたがってハンドルを握り、乗車姿勢を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> サドルポストに刻まれた「はめ合わせ限界標識」が隠れるように高さを調整する。 サドルポストの固定ピンを締める。 	<ul style="list-style-type: none"> サドルポストに刻まれた「はめ合わせ限界標識」が隠れている。 がたつきや緩みがない。 サドルにまたがってハンドルを握ったときに、両足先が地面に着き、上半身が少し前に傾く高さになっている。
チェーン又は歯付ベルト	<ul style="list-style-type: none"> チェーン又は歯付ベルト（以下「チェーン等」といいます。）を正方向及び逆方向に回転させ、円滑に回転するか確認する。 チェーンのさびを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 油を差す。 後車軸の位置を調整する。 チェーン等のコマを取り外す。 新品に交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> チェーン等が正方向及び逆方向のいずれにも円滑に回り、かつ、容易にはずれない。 チェーンにさびがない。
スタンド（※）	<ul style="list-style-type: none"> 上下左右に動かし、がたつきや緩みがないか確認する。 スタンドを跳ね上げたり、おろしたりして、円滑に動くか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 付属のナット等を締める。 油を差す。 新品に交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> がたつきや緩みがない。 円滑に動作する。
泥よけ（※）	<ul style="list-style-type: none"> 上下左右に動かし、がたつきや緩みがないか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 付属のナット等を締める。 新品に交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> がたつきや緩みがない。
積載装置（※）	<ul style="list-style-type: none"> 上下左右に動かし、がたつきや緩みがないか確認する。 積載物が転落するおそれのある破損等がないか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 付属のナット等を締める。 新品に交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> がたつきや緩みがない。 積載物が転落するおそれのある破損等がない。
警音器	<ul style="list-style-type: none"> 鳴らして音を確認する。 上下左右に動かし、がたつきや緩みがないか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 新品に交換する。 付属のねじ等を締める。 	<ul style="list-style-type: none"> よく鳴る。 がたつきや緩みがない。

特殊な部品等 (※)	(電動アシスト自転車) ・電動アシスト機能について、ペダルに力がかかっているときに、補助力が作動していないか確認する。 ・バッテリーの取付部分について、上下左右に動かし、がたつきや緩みがないか確認する。	・製造メーカー等へ修理を依頼する。 ・付属のナット等を締める。	・電動アシスト機能について、ペダルに力がかかっているときに、補助力が作動していない。 ・バッテリーの取付部分について、がたつきや緩みがない。
	(折りたたみ自転車) ・折りたたみ部分について、上下左右に動かし、各部分が確実に固定されているか確認する。	・付属のナット等を締める。	・折りたたみ部分について、各部分が確実に固定されている。
	(けん引・被けん引の自転車等) ・けん引のための部品について、上下左右に動かし、がたつきや緩みがないか確認する。	・付属のナット等を締める。	・けん引のための部品について、がたつきや緩みがない。
その他	・車体をゆすり、各部品とフレーム等との固定部分にがたつきや緩みがないか確認する。	・付属のナット等を締める。	・各部品とフレーム等との固定部分にがたつきや緩みがないか確認する。
備考 (※)を付した項目は、その部品等がある場合に点検整備を行います。			

別表第3 定期的な点検整備

点検整備の対象	点検の内容	整備の方法	確保すべき性能等
ブレーキ	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレーキレバーの大きな遊び、過度な硬さ及び戻りの不良がないか確認する。 ・ブレーキブロックの取付位置のずれ及び過度な磨耗がないか確認する。 ・前ブレーキレバーを人差し指と中指で強く握って作動させた上で、自転車を前に押し、前車輪が回るか確認する。 ・後ブレーキレバーを人差し指と中指で強く握って作動させた上で、前方の水平な位置に置いたペダル上に体重をかけ、後車輪が回るか確認する。 ・同じ側にあるハンドルバーとブレーキレバーを握り、ブレーキレバーを上下左右に動かし、がたつきや緩みがないか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレーキブロックやブレーキワイヤの取付位置や長さを調整する。 ・新品に交換する。 ・付属のねじ等を締める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレーキレバーに適度な遊びがあり、滑らかに操作できる。 ・前ブレーキレバーを人差し指と中指で強く握って作動させた上で、自転車を前に押しても、前車輪が回らない。 ・後ブレーキレバーを人差し指と中指で強く握って作動させた上で、前方の水平な位置に置いたペダル上に体重をかけても、後車輪が回らない。 ・ハンドルバーとブレーキレバーが確実に固定されている。
タイヤ	<ul style="list-style-type: none"> ・安全走行に支障がある磨耗や亀裂等がないか確認する。 ・異物が刺さっていないか確認する。 ・空気圧を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイヤ又はタイヤチューブを新品に交換する。 ・空気を入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイヤに亀裂等がなく、溝がしっかりと残っている。 ・タイヤに表示された適切な空気圧に調整されている。
車輪の固定	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車の前部を持ち上げ、前車輪の上側を下方に向けて強く叩き、フレームとの固定部にずれ等が生じないか確認する。 ・自転車の後部を持ち上げ、後車輪をホークエンドの溝の方向に強く引っ張り、フレームとの固定部にずれ等が生じないか確認する。 ・車輪の脱落防止金具がある場合は、正しく取り付けられているか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・付属のナット等を締める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・車輪がフレームに確実に固定されている。

車輪の振れ	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の走行又はブレーキ操作に支障のある振れがないことを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポークの張力を調整する。 ・リムを新品に交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・車輪に大きな振れがない。 ・車輪が円滑に回転する。
車輪のスポーク	<ul style="list-style-type: none"> ・スポークの折損等がないか確認する。 ・スポークの張力が適正か確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新品に交換する。 ・スポークの張力を調整する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポークに折損等がなく、適正な張力である。
ハンドルバーと前ホークシステムとの固定	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車の前から両足で前車輪を挟み、両手でハンドルバーを握って水平方向に回し、前ホークシステムとの固定部にずれ等が生じないか確認する。 ・ハンドルシステムに刻まれた「はめ合わせ限界標識」が見えていないか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・付属のナット等を締める。 ・はめ合わせを直す。 ・ハンドルシステムに刻まれた「はめ合わせ限界標識」が隠れるように高さを調整する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドルバーと前ホークシステムが確実に固定されている。 ・ハンドルシステムに刻まれた「はめ合わせ限界標識」が隠れている。
ハンドルバーとハンドルシステムとの固定	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドルを握り、下方に強く押し、ハンドルシステムとの固定部にずれ等が生じないか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・付属のナット等を締める。 ・はめ合わせを直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドルバーとハンドルシステムが確実に固定されている。
フレーム	<ul style="list-style-type: none"> ・フレームにへこみ、変形等がないか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フレームを新品に交換するなどする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フレームにへこみ、変形等がない。
前照灯	<ul style="list-style-type: none"> ・上下左右に動かし、フレームとの固定部にずれ等が生じないか確認する。 ・リムドライブ又はタイヤドライブのダイナモ式前照灯は、ダイナモの回転軸の延長線が車輪のハブの中心に向いているか確認する。また、リム等との接触状況を確認する。 ・ダイナモ式前照灯は、電球がダイナモの出力に合ったものか確認する。 ・点灯させて、日本工業規格C9502（自転車用灯火装置）の基準を満たす前照灯の明るさと比較する。また、色が白色又は淡黄色か確認する。 ・レンズに破損や汚損がないか確認する。 ・配線の接続状況を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前照灯の取付位置を調整した上で、付属のねじ等を締める。 ・電球、電池、前照灯本体等を交換する。 ・汚れを取り除く。 ・配線の調整等をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フレームに確実に固定されている。 ・リムドライブ又はタイヤドライブのダイナモ式前照灯は、ダイナモの回転軸の延長線が車輪のハブの中心に向いている。また、リム等と適切に接触している。 ・ダイナモ式前照灯は、電球がダイナモの出力に合ったものである。 ・日本工業規格C9502（自転車用灯火装置）の基準を満たす前照灯の明るさと同等である。また、色が白色又は淡黄色である。 ・レンズに破損や汚損がない。 ・配線が確実につながっている。 ・フレームの縁等との接触による損傷を避ける位置に配線されている。

尾灯	<ul style="list-style-type: none"> 上下左右に動かし、フレームとの固定部にずれ等が生じないか確認する。 リムドライブ又はタイヤドライブのダイナモ式尾灯は、ダイナモの回転軸の延長線が車輪のハブの中心に向いているか確認する。また、リム等との接触状況を確認する。 ダイナモ式尾灯は、電球がダイナモの出力に合ったものか確認する。 点灯させて、日本工業規格C9502（自転車用灯火装置）の基準を満たす尾灯の明るさと比較する。また、色が赤色か確認する。 レンズに破損や汚損がないか確認する。 配線の接続状況を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 尾灯の取付位置を調整した上で、付属のねじ等を締める。 電球、電池、前照灯本体等を交換する。 汚れを取り除く。 配線の調整等をする。 	<ul style="list-style-type: none"> フレームに確実に固定されている。 リムドライブ又はタイヤドライブのダイナモ式尾灯は、ダイナモの回転軸の延長線が車輪のハブの中心に向いている。また、リム等と適切に接触している。 ダイナモ式尾灯は、電球がダイナモの出力に合ったものである。 日本工業規格C9502（自転車用灯火装置）の基準を満たす尾灯の明るさと同等である。また、色が赤色である。 レンズに破損や汚損がない。 配線が確実につながっている。 フレームの縁等との接触による損傷を避ける位置に配線されている。
後部反射器材	<ul style="list-style-type: none"> 上下左右に動かし、フレームとの固定部にずれ等が生じないか確認する。 取付位置が、運転者の衣服や積載物で隠れてしまう位置にないか確認する。 自転車の進行方向と、後部反射器材の反射光の方向との角度に大きなずれがないか確認する。 備え付けられている反射器材と、日本工業規格D9452（リフレックスリフレクタ）の基準を満たす後部反射器材をそれぞれライトで照射し、反射光の明るさを比較する。また、反射光の色が橙色又は赤色であるか確認する。 破損や汚損がないか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 後部反射器材の取付位置を調整した上で、付属のねじ等を締める。 新品に交換する。 汚れを取り除く。 	<ul style="list-style-type: none"> フレームに確実に固定されている。 運転者の衣服や積載物で隠れてしまうおそれのない位置に取り付けられている。 自転車の進行方向と、後部反射器材の反射光の方向に5°以上の傾きがない。 反射光の明るさが、日本工業規格D9452（リフレックスリフレクタ）の基準を満たす後部反射器材と同等である。また、反射光の色が、橙色又は赤色である。 破損や汚損がない。

側面反射器材	<ul style="list-style-type: none"> ・ フレーム又はスポークとの固定部を上下左右に動かす。 ・ 取付位置が、運転者の衣服や積載物で隠れてしまう位置にないか確認する。 ・ 備え付けられている反射器材と、日本工業規格D9452（リフレックスリフレクタ）の基準を満たす側面反射器材をそれぞれライトで照射し、反射光の明るさを比較する。 ・ 破損や汚損がないか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後部反射器材の取付位置を調整した上で、付属のねじ等をしっかりと締める。 ・ 新品に交換する。 ・ 汚れを取り除く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ フレーム又はスポークに確実に固定されている。 ・ 運転者の衣服や積載物で隠れてしまうおそれのない位置に取り付けられている。 ・ 反射光の明るさが、日本工業規格D9452（リフレックスリフレクタ）の基準を満たす側面反射器材と同等である。 ・ 破損や汚損がない。
ペダル反射器材	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペダルとの固定が弱くなっていないか確認する。 ・ 備え付けられている反射器材と、日本工業規格D9452（リフレックスリフレクタ）の基準を満たすペダル反射器材をそれぞれライトで照射し、反射光の明るさを比較する。 ・ 破損や汚損がないか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 付属のねじ、接着剤等で固定する。 ・ 新品に交換する。 ・ 汚れを取り除く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペダルに確実に固定されている。 ・ 反射光の明るさが、日本工業規格D9452（リフレックスリフレクタ）の基準を満たすペダル反射器材と同等である。 ・ 破損や汚損がない。
サドル	<ul style="list-style-type: none"> ・ サドルポストに刻まれた「はめ合わせ限界標識」が見えていないか確認する。 ・ 上下左右に動かしたり、水平方向に回したりして、がたつきや緩みがないか確認する。 ・ サドルにまたがってハンドルを握り、乗車姿勢を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ サドルポストに刻まれた「はめ合わせ限界標識」が隠れるように高さを調整する。 ・ サドルポストの固定ピンを締め直す。 ・ 新品に交換するなどする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ サドルポストに刻まれた「はめ合わせ限界標識」が隠れている。 ・ がたつきや緩みがない。 ・ サドルにまたがってハンドルを握ったときに、両足先が地面に着き、上半身が少し前に傾く高さになっている。
チェーン等	<ul style="list-style-type: none"> ・ チェーン等を正方向及び逆方向に回転させ、円滑に回転するか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 油を差す。 ・ 後車軸の位置を調整する。 ・ チェーン等のコマを取り外す。 ・ 新品に交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ チェーン等が正方向及び逆方向のいずれにも円滑に回り、かつ、容易にはずれない。

スタンド (※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上下左右に動かし、がたつきや緩みがないか確認する。 ・ スタンドを跳ね上げたり、おろしたりして、円滑に動くか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 付属のナット等を締める。 ・ 油を差す。 ・ 新品に交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ がたつきや緩みがない。 ・ 円滑に動作する。
泥よけ (※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上下左右に動かし、がたつきや緩みがないか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 付属のナット等を締める。 ・ 新品に交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ がたつきや緩みがない。
積載装置 (※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上下左右に動かし、がたつきや緩みがないか確認する。 ・ 積載物が転落するおそれのある破損等がないか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 付属のナット等を締める。 ・ 新品に交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ がたつきや緩みがない。 ・ 積載物が転落するおそれのある破損等がない。
警音器	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5 m離れた位置で音が聞こえるか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新品に交換するなどする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5 m離れた位置で適度な音量で聞こえる。
特殊な部品等 (※)	(電動アシスト自転車)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製造メーカー等へ修理を依頼する。 ・ 付属のナット等を締める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電動アシスト機能について、ペダルに力がかかっているときに、補助力が作動していない。 ・ バッテリーの取付部分について、がたつきや緩みがない。
	(折りたたみ自転車)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 付属のナット等を締める。 ・ 油を差す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 折りたたみ部分について、各部が確実に固定されている。
	(けん引・被けん引の自転車等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 付属のナット等を締める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ けん引のための部品について、がたつきや緩みがない。

その他	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者に危害を及ぼすおそれがある鋭利な突出部がないか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 容易に離脱しない保護キャップを取り付けるなどする。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者に危害を及ぼすおそれがある鋭利な突出部がない。
	<ul style="list-style-type: none"> 自転車の各部に著しいさび、破損、がたつき等がないか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> さびを落とす。 油を差す。 部品を新品に交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自転車の各部に著しいさび、破損、がたつき等がない。
	<ul style="list-style-type: none"> 前車輪を20 c m程度持ち上げてから落下させ、異音等がしないか確認する。 後車輪を20 c m程度持ち上げてから落下させ、異音等がしないか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 付属のねじ等を締めるなどする。 	<ul style="list-style-type: none"> 前車輪を20 c m程度持ち上げてから落下させても、異音等がしない。 後車輪を20 c m程度持ち上げてから落下させても、異音等がしない。
備考 (※)を付した項目は、その部品等がある場合に点検整備を行います。			